

NEWS RELEASE

報道関係各位

2025 年 8 月 21 日

大規模ネットワークの統合管理や柔軟な IT インフラの構成変更を支える AlliedWare Plus の新バージョンを提供開始 ～ AMF PLUS コントローラーの新規ライセンス販売も併せて開始 ～

アライドテレスیس株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 サチエ オオシマ）は、2025 年 8 月 21 日より、当社ネットワーク機器の OS「AlliedWare Plus」向けファームウェア「Ver.5.5.5-1.1」のダウンロード提供を当社ウェブサイトにて開始いたします。
本バージョンでは、一部製品の機能拡張を実施しており、関連するライセンスの販売も同日より開始いたします。

AlliedWare Plus 最新 Ver. 5.5.5-1.1 をリリース

**大規模ネットワークなど
幅広いシーンで求められる管理性・柔軟性を強化**

今回のファームウェアバージョンアップで実施した主なエンハンスは下記の通りです。

■ 大規模ネットワークの階層的な統合管理に対応し、運用効率を向上：AT-SBx908 GEN3

<AMF PLUS コントローラーに対応>

アドバンスド・レイヤー3 モジュラー・スイッチ AT-SBx908 GEN3 が、当社独自のネットワーク運用管理ソリューション「AMF PLUS」の中核機能である「AMF PLUS コントローラー」機能に対応しました。

本機能は、複数の AMF PLUS マスター機を統合管理し、広域・多拠点ネットワークの一元管理を可能とします。このことで、複雑化するネットワーク環境でも、効率的かつ堅牢な運用を可能にします。

※ご利用には今回新規リリースとなるライセンス（例：AT-SBx9G3-APC60-1Y-2025）が必要です。

<400G 対応で次世代の高速通信基盤への対応が可能に>

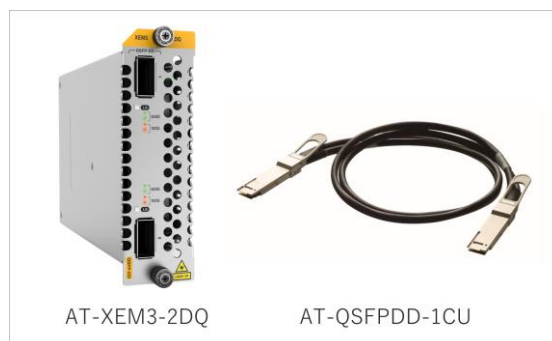
なお、AT-SBx908 GEN3 は先般リリースされた拡張モジュール「AT-XEM3-2DQ」や QSFP-DD モジュール「AT-QSFPDD-1CU」により 400Gbps インターフェースの利用が可能になりました。

これにより、次世代の高速通信基盤に一層柔軟に対応できるようになります。

※拡張モジュールはこちらのリストからご確認いただけます。

[https://www.allied-tesis.co.jp/p-](https://www.allied-tesis.co.jp/p-material/datasheet/SBx908GEN3-d.pdf#page=7)

[material/datasheet/SBx908GEN3-d.pdf#page=7](https://www.allied-tesis.co.jp/p-material/datasheet/SBx908GEN3-d.pdf#page=7)



■ 柔軟なネットワーク構成や時刻同期などに対応：x540L シリーズ

<AMF PLUS と AWC の管理台数配分を柔軟に変更可能に>

レイヤー3 の 10G ギガビット・インテリジェント・スタックブルスイッチである x540L シリーズで管理可能な AMF PLUS メンバーのスイッチと AWC 対応の無線 LAN アクセスポイントの台数が合計 100

台までの中で、例えばスイッチを 20 台でアクセスポイントを 80 台といったように、用途に応じて自由に配分できるようになりました。これにより、ネットワーク構成の変更や柔軟な拡張を支援します。
※ご利用には別途ライセンス（例：AT-SW-APM10-7Y-2022、AT-SW-WL10-7Y-2020）が必要です。

■ 管理機能・通信効率・高温環境対応で、より多様な環境に対応：AT-ARX200S-GTX

<最大 50 台のアクセスポイント管理が可能に>

10G インターフェース対応のスタンダード VPN アクセスルーター AT-ARX200S-GTX が、新規ライセンスのリリースにより、最大 50 台の無線 LAN アクセスポイントの管理に対応しました。これにより、オフィスや施設内における柔軟で広範囲な無線 LAN 環境の構築を支援します。
※ご利用には今回新規リリースとなるライセンス（例：AT-RT-WL10ADD-1Y-2024）が必要です。

<PIM-SSM 対応で、効率的なマルチキャスト通信が可能に>

同製品が特定の送信元からのマルチキャスト通信を効率的に行う PIM-SSM (Source-Specific Multicast) に対応しました。これにより、例えば映像配信や会議システムなどで、帯域を無駄にせず安定したネットワーク通信とパフォーマンスの向上を支援します。

<高温環境でも安定稼働を実現>

今回のファームウェアから最大 60℃までの動作温度に対応しました。高温になりやすい屋内設備や空調が制限された環境でも安定した動作を実現し、設置場所の選択肢を広げることで、さまざまな環境でより柔軟なシステム設計を支援します。^(※1)

■ 法人向け無線ルーターの認証と制御を強化：AT-TQR シリーズ

<安全な RADIUS 認証通信が可能に>

法人向けの無線 LAN ルーターである AT-TQR シリーズが、認証情報を暗号化して安全に送信する RadSec (RADIUS over TLS) に対応しました。本対応により、サテライトオフィスや小売店舗などの小規模ネットワークからの拠点間やクラウドへの接続でも、認証情報の漏えいリスクを抑えた安全な通信環境を支援します。

■ 新規ライセンスについて

今回の AlliedWare Plus のファームウェアバージョンアップに伴い、対応する新ライセンスも同時にリリースします。

製品名	価格(税込)	概要
AT-SBx9G3-APC60-1Y-2025	¥2,640,000	複数の AMF PLUS マスターを統合管理する AMF PLUS コントローラー機能に対応するライセンス。 (60 マスター 1 年)
AT-RT-WL10ADD-1Y-2024	¥15,400	AT-ARX200S-GTX 用無線 LAN コントローラー追加ライセンス (10AP 1 年)

※このほかにもご利用可能期間として 5 年間 (5Y) や 7 年間 (7Y)、更新用のライセンスなどもご用意しています。

●バージョンアップ概要

今回のバージョンアップで追加・拡張したその他の機能やサポート範囲などの詳細については、こちらのリリースノートをご覧ください。<https://www.allied-tesis.co.jp/support/>

バージョン名：AlliedWare Plus Ver.5.5.5-1.1、Device GUI Ver.2.21.0、AT-NFV-APL Series 用パッケージバージョン Ver.1.14.1、AT-AR4000S-Cloud Ver.5.5.5-1.1

(※1) 今回のファームウェアバージョン 5.5.5-1.1 以降での動作時温度です。本バージョン以前のバージョンでは 0~50℃となります。防水・防塵には非対応。

注) AT-NFV-APL Series 用パッケージバージョン Ver.1.14.1、AT-AR4000S-Cloud Ver.5.5.5-1.1 は、8 月下旬のリリースを予定しています。

注) 記載されている商品またはサービスの名称等はアライドテレシスホールディングス株式会社、アライドテレシス株式会社およびグループ各社、ならびに第三者や各社の商標または登録商標です。

<<製品に関するお問い合わせ>>

E-Mail: info@allied-tesis.co.jp

<https://www.allied-tesis.co.jp>

アライドテレシス株式会社

<<ニュースリリースに対するお問い合わせ>>

マーケティングコミュニケーション部

Tel: 03-5437-6042 E-Mail: pr_mktg@allied-tesis.co.jp

東京都品川区西五反田 7-21-11 第 2 TOC ビル